



公益財団法人
福島県文化振興財団

ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》

2025

10

October



令和7年度まほろん企画展

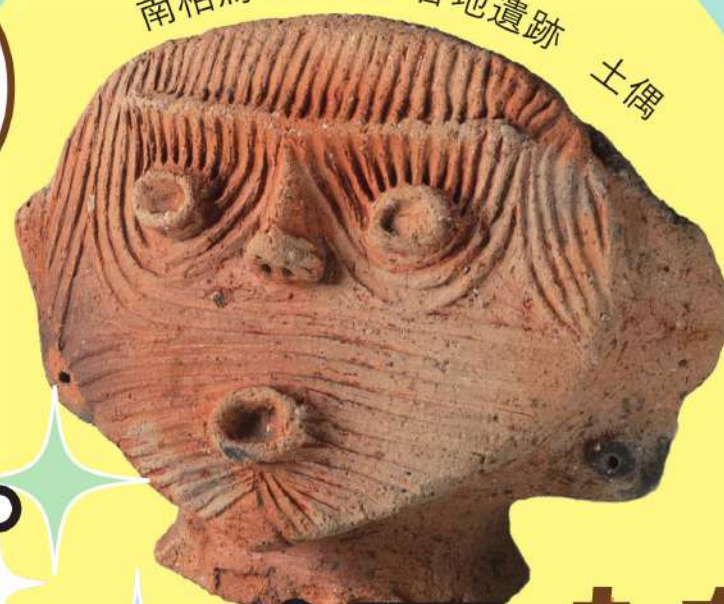
はじめて

新収蔵資料展

まほろんの

ニューフェイスたち

南相馬市 天神谷地遺跡 土偶



近年加わった収蔵資料を初お披露目！

県文化財センター白河館まほろんが収蔵する資料の中から、近年収蔵された期待の「新顔（ニューフェイス）」の出土遺物を初公開。下郷町の縄文中期～後期の集落、郡山市の阿武隈川河畔の古墳時代から中世の集落跡、南相馬市の縄文後期・晩期の土器や土偶など、今後注目されるべき新たな資料にスポットをあて、県内各地の発掘調査成果を紹介する。



【会 期】10月25日(土)
～12月14日(日)
9:30～17:00(最終入館 16:30)

【会 場】白河市・県文化財センター白河館
まほろん

【料 金】無料

【休 日】月曜日(11/3、11/24 をのぞく)
11/4、11/25

【主 催】公益財団法人福島県文化振興財団

【問合せ】まほろん (0248)21-0700

※11月1日(土)・11月29日(土)・12月6日(土)
各日とも午前11時、午後2時から、同館学芸員
による展示解説会を開催。

※11月15日(土)午前10時30分から「文化財
講演会『中通りの中世遺跡を掘る』」を開催。

(上 段) 下郷町 栗林遺跡 縄文土器

(下段左) 南相馬市 天神谷地遺跡 縄文土器

(下段右) 郡山市 徳定 A・B遺跡 手取釜

○ Event Schedule

イベントスケジュール 10月

※本誌に掲載した情報は、すべて9月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音 楽

10/4(土)
大塚直哉プロデュース「音楽の隠れ家 in いわき 2025《秋》」チェンバロ・コンサート
「銀の鈴を振るがごとく vol. 7」
所 いわき市・いわき文化交流館アリオス 時 17:00
¥ 一般・大学生1,500円、高校生以下500円、3歳以下膝上鑑賞無料、withチケット(介助者用チケット)500円
曲 J.S.バッハ「半音階的幻想曲とフーガニ短調」ほか
問 アリオスチケットセンター (0246)22-5800
※チェンバロ奏者・大塚直哉が、ゆかりのあるいわき市で2015(平成27)年から続けているコンサート。

10/4(土)・5(日)
第20回いわき街なかコンサート2025
所 いわき市・いわき駅前多目的広場(チャイルド絆交流広場)イオンいわき店(駐車場)ほか 時 4日10:30、5日10:00
¥ 無料 問 実行委員会(0246)47-0130
※2004(平成16)年にスタートしたコンサート。プロ・アマ問わず全国公募で集まったミュージシャンが、いわき市内14か所の特設ステージで様々なジャンルの音楽を演奏。フラダンスやよさこい踊りなどのダンスステージもある。

10/5(日)
第7回郡山市音楽の日
所 郡山市・郡山駅西口広場、うすい百貨店前、大町商店街ほか 時 10:00 ¥ 無料
出 成瀬瑛美 with がくとくんバンド、nano.RIPE、PAKshinほか
問 実行委員会 kyc.ongakunohi@gmail.com
※郡山市内9つの会場で様々なジャンルの音楽が楽しめるほか、フラダンスやよさこい踊りなどのステージもある。

10/11(土) チケット販売中
柳沢慶子ピアノリサイタル “君に捧ぐ”
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) 時 14:00 ¥ 2,000円
曲 リスト「シューマン歌曲集『ミルテの花』より『君に捧ぐ』」ほか
問 実行委員会(024)545-4486
※福島市在住のピアニスト。フ란ツ・リストとフレデリック・ショパンの名曲が持つ魅力を、スタインウェイピアノの響きとお話で伝える。未就学児入場不可。

10/11(土)・12(日)・13(月・祝)
白河まちなか音楽祭 3 Days 2025
所 白河市・白河文化交流館コミネス、月心院、マイタウン白河白河駅前イベント広場ほか
時 会場により異なる ¥ 無料

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
障がい者割引 障がい者無料 手帳など証明書類を要持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 出 出演予定者
時 開演・開始時間 曲 演奏予定曲
休 休館日 講 講師予定者
¥ 料金 題 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み) 問 お問い合わせ

出 11日 芳賀大峰(郡山市出身・サクソフォン)&芳賀美咲(同)、園谷俊貴(古殿町出身・チェンバロ)ほか
12日 名雪祥代カルテット 凜-Rin-(いわき市出身・フラメンコギター)ほか
13日 石田組コンサートツアー 2025白河公演(チケット完売)
問 コミネス(0248)23-5300
※白河市内のホールやカフェ、神社、駅前広場など11会場でクラシックやジャズ、邦楽、民族音楽など多彩なプログラムを開催。

10/12(日)
第61回福島県おかあさん合唱祭
所 南相馬市・鹿島生涯学習センター 時 10:00
¥ 無料(プログラム代300円) 問 事務局(090)1372-2061
※福島県おかあさん合唱連盟に加盟する25団体が、日頃の活動の成果を発表する。

10/13(月・祝)
山形交響楽団「ドラゴンクエストの世界」in いわき
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス 時 14:00
¥ 《全席指定》(前売)6,000円 (当日)6,500円
出 山形交響楽団(管弦楽)、渡邊一正(指揮)
曲 すぎやまこういち『交響組曲ドラゴンクエストⅢ』そして伝説へ… 問 アリオスチケットセンター (0246)22-5800
※「交響組曲ドラゴンクエストⅢ」から名曲の数々を演奏。未就学児入場不可。「令和7年度文化庁劇場・音楽堂における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」により、小学生以上18歳以下の無料招待枠がある。専用Webサイトから要申込。

10/13(月・祝)
ブラス・アンサンブル輝響 第22回演奏会「Fluffy Time ～もふもふの時間～」
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) 時 14:00
¥ 無料 曲 C.ヘイゼル「三匹の猫」ほか
問 事務局(080)1831-7057
※福島市を拠点に活動する金管アンサンブル。「もふもふの時間」をテーマに、動物にかかわる曲目を演奏する。

10/25(土)
1966カルテットーザ・ビートルズクラシックスー
所 会津若松市文化センター 時 14:00
¥ 《全席指定》
(前売)一般2,500円、小・中学・高校・大学生1,000円
(当日)一般3,000円、小・中学・高校・大学生1,500円
出 松浦梨沙(ヴァイオリン・リーダー)、花井悠希(ヴァイオリン)増田みのり(ピアノ、会津若松市出身)ほか
問 會津風雅堂(0242)27-0900
※ビートルズ来日の1966(昭和41)年をグループ名に冠するカルテット(チェロは正規メンバーの伊藤利英子に代わり、サポートメンバーが演奏)。ザ・ビートルズの名曲やUKロックをクラシカルな音色で奏でる。未就学児入場不可。

10/25(土)・26(日)
福島日産×EV GARDEN
ふくしままちなか音楽祭 2025
所 福島市・まちなか広場、福島駅東口駅前広場・地下通路、新浜公園、福島聖ステパノ教会ほか
時 両日とも11:00 ¥ 無料
出 25日: 箏男 kotomen 大川義秋、BANGERS、MANAMI 福島敬香保育園、福島県警察音楽隊ほか
26日: 瑛人、けっぱって東北、Jin & Nick's、TRA ë LL 平野小学校特設音楽部「シャインマスカッツ」ほか
問 福島市文化振興課(024)525-3785
※2023(令和5)年から始まった音楽祭。3回目となる今回は、開催日を2日間に拡大し、4つの会場5つのステージで様々なジャンルの音楽を楽しめる。出演は、抽選で決定した県内外のアマチュア音楽家とゲストアーティスト。

10/26(日)
スペシャルサロンコンサート
彼の音楽を彼が弾く 奇跡のピアニスト
館野泉 演奏生活65周年 卒寿記念コンサート
所 南相馬市民文化会館ゆめはっと 時 14:00
¥ (前売)一般・大学生1,800円
小・中学・高校生無料(要整理券)
(当日)一般・大学生2,100円
小・中学・高校生無料(要整理券)
出 館野泉(ピアノ)、元田牧子(朗読)
曲 マグヌッソン(作曲)組曲「アイスランドの風景」久保禎(構成・作曲)「花たんご～鹿児島の話による叙情～」ほか
問 ゆめはっと(0244)25-2763
※「左手のピアニスト」として知られる館野泉による卒寿記念のリサイタル。年齢を重ねるごとに円熟味を増すソロ演奏のほか、朗読との共演もある。未就学児入場不可。

10/30(木)
郡山キャナル国際音楽祭 2025
「魅惑のリコーダー&ピアノ」
所 郡山市・開成山大神宮 時 18:30
¥ (前売)一般・大学生3,800円
(当日)一般・大学生4,000円
小・中学・高校生は無料チケット(要申込)
出 中村栄宏(リコーダー)、川口成彦(ピアノ)
曲 Y.ボーウェン「リコーダーソナタOp.121」ほか
問 音楽祭事務局(024)911-9115

10/24(金)・25(土)・26(日)
しらかわ演劇塾 第11回公演 おらほの殿さん～松平定信 伝～
名君・定信公の生涯をオリジナル脚本で舞台化
所 白河市・白河文化交流館コミネス 時 24日19:30、25日14:30・18:30、26日11:00・17:30
¥ (前売)一般2,500円、25歳以下1,500円、高校生以下500円
(当日)一般3,000円、25歳以下2,000円、高校生以下500円 問 事務局engekistw@gmail.com
※白河市を拠点に活動する演劇団体の定期公演。名君として知られる第12代白河藩主・松平定信の生涯をオリジナル脚本で上演する。江戸幕府老中として取り組んだ「寛政の改革」の厳格なイメージと、白河領民のための藩政を行った愛情深い姿、周囲の思惑に翻弄されながらも真っ直ぐに生きたその生涯を描き、現代に受け継がれる「定信の遺志」に想いを馳せる。未就学児入場不可。(共催:白河市大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会)

※エンジニアから転身し、海外でリコーダーを学んだ異色の音楽家・中村栄宏と、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位やブルージュ国際古楽コンクール最高位受賞歴のあるピアニスト・川口成彦が共演。未就学児入場不可。

10/31(金)
キンテート 三浦一馬五重奏団
一情熱のタンゴ
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター) 時 18:30
¥ 《全席指定》一般5,000円、U 25(25歳以下)2,500円
出 三浦一馬(バンドネオン)、石田泰尚(ヴァイオリン) 小金丸章斗(コントラバス)、山田武彦(ピアノ) 大坪純平(ギター)
曲 フーガと神秘、オブリヴィオン、天使の死ほか
問 郡山市民文化センター (024)934-2288
※バンドネオン奏者・三浦一馬が率いるキンテート(五重奏団)がタンゴの名曲を演奏。未就学児入場不可。

舞 台

10/11(土)
和泉流宗家 狂言の世界 2025
所 磐梯町・史跡慧日寺跡 時 14:00
¥ 一般・大学・高校生3,000円、中学生以下無料
小学生以下は要保護者同伴
出 和泉元彌(和泉流二十世宗家) 和泉淳子(和泉流女性狂言師)ほか
問 事務局(0241)24-2233
※日本の伝統芸能である「狂言」を、慧日寺跡の境内で上演。演目は「萩大名」「附子」ほか。雨天決行。傘の使用はできないため、レインコート等要持参。

10/13(月・祝)
劇団ユニット・ラビッツ 第18回公演
「バナナのなぞはまだなぞのままなのだぞ」
所 郡山市・ミュージカルがくと館 時 11:30、16:00
¥ 一般・大学生1,500円、高校生以下500円
問 事務局 unit.rabbits@gmail.com
※郡山市を拠点にオリジナル作品で公演を続け、今年旗揚げ20周年を迎えた市民劇団。劇団代表・佐藤茂紀さんの作・演出による新作公演。



10/25(土)
劇団 120 O E N 第 45 回公演
「音連れ梅に しのぶ浦」
所 福島市・旧馬場家(福島市民家園内) 時 10:00、12:00、14:00
¥ 一般・大学・高校生 500 円、中学生以下無料
問 事務局 info@120en.com
※福島市に伝わる民話や歴史を元に創作劇を上演する劇団。各
回定員先着 40 名。詳細は裏表紙インタビューコーナー参照。

10/30(木)
萬斎からのメッセージ「山月記・名人伝」
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス 時 19:00
¥《全席指定》S 席 7,000 円、S 席ベア 12,000 円、A 席 5,000 円
U25(25 歳以下)2,500 円
with チケット(介助者用チケット)500 円
出 野村萬斎(万作の会)、野村裕基(同)、深田博治(同)
高野和憲(同)、中村修一(同)、内藤連(同)、長谷川将山(尺八)
原岡一之(大鼓)
問 アリオスチケットセンター (0246)22-5800
※中島敦の二つの短編小説「山月記」と「名人伝」を狂言師・
野村萬斎が演出。狂言の手法・古典芸能の発想や技法を駆使し、
語りと尺八・大鼓の音楽で綴る音楽劇。未就学児入場不可。

自主上映

10/17(金)
アサカ理研 郡山中央図書館 映画会
「九十歳。何がめでたい」
所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館 時 10:00、14:00
¥ 無料(要整理券) 問 図書館 (024)923-6616
※定員各回当日先着 100 名。上映作品は、同名エッセイ集を映
画化した「九十歳。何がめでたい」(2024 年、99 分)。

展 示

開催中～ 10/8(水)
新地町ゆかりの画家 4 人展
所 新地町文化交流センター
時 10:00 ～ 17:00(10/4 は 20:00 まで)
休 会期中無休 ¥ 無料
問 新地町教育委員会教育総務課文化振興係 (0244)62-2085
※新地町ゆかりの画家、志賀一男・坂元郁夫(雅号 薬師丸郁
夫)・星茂・齋藤研の様々なジャンルの作品を展示。同町出身
の漫画家・横山孝雄の原画展も同時開催。

開催中～ 10/13(月・祝) 障がい者無料
こつこつと手さぐる展
所 猪苗代町・はじまりの美術館 時 10:00 ～ 18:00
休 火曜日 ¥ 一般・大学生 500 円、高校生以下無料
問 美術館 (0242)62-3454
※一見小さなことを繰り返し、それをこつこつと続けることで
作品を生み出す 7 組の作家を紹介。10 月 4 日(土)午後 2 時か
らは、同館職員によるギャラリートークもある。

開催中～ 11/9(日)
白河市合併 20 周年記念特別企画展
松平定信の文化カーづくり・しらべ・うつし・
つたえるー
所 白河市・小峰城歴史館 時 9:00 ～ 17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(10/13、11/3 をのぞく)、10/14、11/4
¥ 一般・大学生 300 円、小・中学・高校生 100 円、障がい者 100 円
問 白河市文化財課 (0248)27-2310
※白河藩主・松平定信の自筆書画をはじめ、詠歌や随筆などの
文芸作品、文化財保護・調査研究に関する資料など展示。10
月 18 日(土)・11 月 9 日(日)いずれも午前 11 時、午後 2 時か
らは、同館学芸員による展示解説会もある。

開催中～ 11/24(月・振休)
水郡線応援「東白川郡の古文書一鮫川村編一」
所 福島市・県歴史資料館
時 9:00 ～ 17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(10/13、11/3、11/24 をのぞく)
10/14、11/4
¥ 無料 問 資料館 (024)534-9193
※水郡線活性化を応援するため、同館に収
蔵されている水郡線沿線地域(東白川郡)
ゆかりの古文書を展示するシリーズ展の第
2 弾。江戸・明治時代を中心とした鮫川村にゆかりのある古文
書を展示。10 月 5 日(日)・11 月 8 日(土)いずれも午後 1 時
30 分からは展示解説会を開催。

開催中～ 11/30(日)
夏・秋の企画展「火山列島に生きる」
所 北塩原村・磐梯山噴火記念館 時 8:00 ～ 17:00
休 会期中無休 ¥ 一般・大学生 600 円、中学・高校生 500 円、
小学生 400 円、障がい者 350 円
問 記念館 (0241)32-2888
※産業技術総合研究所地質調査総合センターの火山研究の成果
に関するパネル 15 点を展示。

9/27(土)～ 11/24(月・振休)
二本松城の石垣
所 二本松市・二本松歴史館
時 9:00 ～ 17:00(最終入館 16:30) 休 9/29、10/7 ¥ 無料
問 二本松市教育委員会文化課 (0243)55-5154
※二本松城の本丸石垣修築復元事業竣工から 30 年を迎えるこ
とを記念し、当時の石垣修復の状況と意義について紹介すると
ともに、これまでの各種調査により明らかとなった二本松城の
姿、石垣修理を取り巻く環境の変化などを紹介する。

10/1(水)～ 11/1(土)
アオウゼ 15 周年関連展示
「スタジオジブリ映画ポスター大集合」展
所 福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ
時 9:00 ～ 21:00 休 会期中無休 ¥ 無料
問 アオウゼ (024)533-2344
※福島市アクティブシニアセンター・アオウゼの創設 15 周年
記念事業。『風の谷のナウシカ』から『君たちはどう生きるか』
まで、40 年にわたるスタジオジブリ映画作品のポスターをエ
ントランスで展示。ジブリ映画『となりのトトロ』エンディン
グ曲「さんぽ」の作詞を手がけ、福島市に在住経験もある児童
文学者についての「中川李枝子さんと福島市」展も同時開催。

10/3(金)～ 10/7(火)
福島県障がい者芸術作品巡回展
「きになるゝひょうげんリターンズ 2025」櫛葉会場
所 櫛葉町・みんなの交流館 ならは CANvas
時 10:00 ～ 18:00 休 会期中無休 ¥ 無料
問 はじまりの美術館 (0242)62-3454
※第 8 回福島県障がい者芸術作品展「きになるゝひょうげん
2024」の受賞作品や特選作品など、24 点を展示。

10/3(金)～ 11/5(水)
福島県歴史資料館移動展
「明治時代の白水阿弥陀堂」
所 福島市・県立図書館 時 9:30 ～ 19:00(土日祝は 17:30 まで)
休 月曜日(10/13、11/3 をのぞく)、10/14、11/4
¥ 無料 問 図書館 (024)535-3220
※明治時代に長年の経年劣化と暴風によって倒潰し、大規模な
修復がなされて国宝になっている白水阿弥陀堂について、当時
の写真や修理の記録を展示し、明治時代の白水阿弥陀堂を紹介。

10/4(土)～ 10/31(金)
第 20 回西会津国際芸術村公募展 2025

所 西会津町・西会津国際芸術村
時 10:00 ～ 17:00(最終日は 15:00 まで)
休 月曜日(10/13 をのぞく)、火曜日
¥ 一般・大学・高校生 300 円、小・中学生 100 円
問 芸術村 (0241)47-3200
※「芸術文化の力で国境を越えた交流を生む」という思いのもと、
同館が毎年開催している公募展。一般・U18(16～18 歳)、U15(10
～15 歳)の部門で入賞・入選した絵画・平面作品を展示する。

10/4(土)～ 12/7(日) 障がい者無料
発掘ふくしま 00(ゼロ)ーふくしま考古学事始めー
所 会津若松市・県立博物館
時 9:30 ～ 17:00(観覧チケット販売は 16:30 まで)
休 月曜日(10/13、11/3、11/24 をのぞく)、10/14、11/4、11/25
¥ 一般・大学生 1,200 円、高校生以下無料
問 博物館 (0242)28-6000
※好古家が収集した土器や高校生による発掘調査結果、文化財
に指定された出土資料などを展示し、明治から昭和にかけての
県内の発掘調査の歴史に迫る。10 月 4 日(土)、26 日(日)、11
月 15 日(土)、12 月 7 日(日)各日とも午後 1 時 30 分からは、
同館学芸員による展示解説会もある。

10/11(土)～ 11/30(日) 障がい者無料
開館 25 周年記念特別企画展
「久米正雄と鎌倉文士の軌跡」
所 郡山市・こおりやま文学の森資料館
時 10:00 ～ 17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(10/13、11/3、11/24 をのぞく)、10/14、11/4、11/25
¥ 一般 200 円、高校・大学生 100 円、中学生以下・65 歳以上
無料 問 資料館 (024)991-7610
※作家・久米正雄の自筆原稿や関連する書籍、雑誌、書簡、遺
品などを展示し、鎌倉へ移り住み、多くの鎌倉文士たちと交流
を深めながら取り組んだ様々な活動に焦点を当て、その生涯を
辿る。文豪が登場するシュミレーションゲームとタイアップし
た「開館 25 周年記念『文豪とアルケミスト』タイアップパネル展」
も同時開催。

10/18(土)～ 10/28(火)
第 25 回しのぶの里フォトコンテスト入賞作品展
所 福島市写真美術館(花の写真館)
時 9:00 ～ 16:30(最終入館 16:00)
初日 13:00 ～ 14:30 は一部作品観覧不可
休 会期中無休 ¥ 無料 問 花の写真館 (024)563-4990
※グランプリをはじめとした入賞作品 52 点を展示。

開催中～ 11/3(月・祝)
ニューアートシーン・イン・いわき
unpis ルートs

いわき市出身イラストレーターの活動の軌跡と新作を紹介

所 いわき市立美術館 時 9:30 ～ 17:00(最終入場 16:30)
休 月曜日(10/13、11/3 をのぞく)、10/14 ¥ 無料 問 美術館 (0246)25-1111

※いわきと隣地域にゆかりのある現代作家を紹介する展覧会シリーズ。第 51 回目となる今回は、い
わき市出身のイラストレーター・unpis(ウンピス)を取り上げる。どこにでもあるモチーフを独自の視
点からとらえ、シンプルな線と鮮やかな色彩によって表現する unpis。本展では、同氏が今まで辿っ
てきた道(route)／作家自身の根源(root)／ルーツ(roots)であるいわき市での展示という意味を込めた
「ルートs」と題して、新作展示のほか、これまでの幅広い活動を振り返る。

10/18(土)～ 12/14(日) 障がい者無料
生誕 140 年 竹久夢二のすべて
画家は詩人でデザイナー

美人画家の粹におさまりきらない「クリエイター」としての魅力に注目

所 福島市・県立美術館 時 9:30 ～ 17:00(最終入館 16:30) 休 月曜日(11/3、11/24 をのぞく)、11/4、11/25
¥ (前売)一般・大学生 1,200 円、高校生 700 円、小・中学生 400 円
(当日)一般・大学生 1,300 円、高校生 800 円、小・中学生 500 円 問 美術館 (024)531-5511

※大正時代を代表する画家・竹久夢二の生誕 140 年・没後 90 年を記念した全国巡回展。京都・嵐山の
福田美術館が所蔵する河村幸次郎旧蔵コレクションから、連作「長崎十二景」や「女十題」などの名作、
セノオ楽譜や中山晋平楽譜の表紙原画のほか、小説や俳句なども紹介。福島会場の特別企画として、
本県ゆかりの作品も展示する。

10/25(土)～12/14(日)
新収蔵資料展
まほろんのニューフェイスたち
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日(11/3、11/24をのぞく)、11/4、11/25
¥ 無料 問 まほろん(0248)21-0700
※詳細は表紙参照。



県外

開催中～11/16(日)
特別企画展「大地の思い出“そこ”にある森のあと」
所 仙台市・地底の森ミュージアム
時 9:00～16:45(最終入館16:15)
休 月曜日(10/13、11/3をのぞく)、10/23、11/4
¥ 一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円
問 ミュージアム(022)246-9153
※噴火や洪水、気候変動などによって地中や水中に埋もれた木々がそのままの姿で残った「埋没林」を保存展示する同館と、「魚津埋没林博物館(富山県)」「さんべ縄文の森ミュージアム(島根県)」の特徴や、その所在地域の風景を紹介するパネル展。

開催中～11/30(日)
縄文時代草創期の石器工房
一日向洞窟遺跡西地区一
所 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
時 9:30～16:30(最終入館16:00)
休 月曜日、祝日(11/3をのぞく)、11/4
¥ 一般200円、大学生100円、高校生以下無料
問 資料館(0238)52-2585

※山形県高島町・日向洞窟遺跡西地区から出土した隆起線土器や尖頭器、石斧など、縄文時代草創期関連の遺物を中心に展示。

講演・講座

10/18(土)
「大ゴッホ展 夜のカフェテラス」開催記念講演会
所 会津若松市・会津大学 時 13:30 ¥ 無料(要申込)
講 早川博明(県立美術館名誉館長) 題 ゴッホ その祈りと夢
問 大ゴッホ展開催記念講演会事務局(024)953-4887
※定員先着240名(要申込)。来年2月から開催される企画展

「大ゴッホ展 夜のカフェテラス」公式関連イベント。困難な人生を歩みながらも決して創作をあきらめなかったゴッホが作品に託した芸術や人生への想いを通して、その人物像を紐解く。Webまたは往復ハガキで申込受付。Webは10月10日(金)締切、往復ハガキは10月3日(金)消印有効。申込方法等の詳細については福島展公式ホームページ(「大ゴッホ展 福島」で検索)を確認。

10/18(土)
特別企画展「二本松城の石垣」記念シンポジウム
所 二本松市・県男女共生センター 時 13:30 ¥ 無料
講 北垣聡一郎(石川県金沢城調査研究所名誉所長) 宮武正登(佐賀大学教授) 上月保道(文化財石垣技能者) 鈴木功(白河市教育委員会文化財専門研究員) 根本豊徳(二本松市文化財保護審議会委員) 金森安孝(北日本近世城郭検討会)
問 二本松市教育委員会文化課(0243)55-5154
※二本松城跡の石垣修築復元とその意義について、基調講演と、パネルディスカッション、記録ビデオの上映・解説。

10/25(土)
福島県立図書館「福島を生きる講座」第2回
所 福島市・県立図書館 時 14:00 ¥ 無料(要申込)
講 渡邊智裕(県文化振興財団歴史資料課長)
題 明治時代の白水阿弥陀堂の修復と日本美術院
問 図書館(024)535-3220
※定員先着40名(要申込)。明治時代の白水阿弥陀堂の修復過程や、堂内の仏像を修復した岡倉天心主宰の日本美術院の活動について解説する。図書館総合案内カウンター、電話、Web申込フォームにて申込受付。

その他

10/25(土)
いわき市考古資料館まつり
所 いわき市考古資料館 時 10:00、14:00
¥ イベントにより異なる 問 資料館(0246)43-0391
※一部イベントは定員あり(要事前申込、先着順)。まが玉づくりをはじめ、土器・土偶・はにわづくり、火おこし、弓矢など、昔の人々の暮らしと技を体験。窓口、電話、FAX(0246-43-0395)、E-mail (info@iwaki-koukoshiryokan.jp)にて申込受付。詳細は要問合せ。

10/19(日) 令和7年度「読み直すふくしまの歴史事業」 報告会「福島いせき発見！」

県内遺跡の発掘調査の成果報告から福島の歴史を再発見

所 下郷町・下郷ふれあいセンター 時 10:30～14:00 体験、11:00～14:30 展示、13:00 報告会 ¥ 無料

講 ①今野徹(県文化振興財団遺跡調査部) ②青山博樹(同)

題 ①「下郷町栗林遺跡の調査成果概要報告」②「金山町中西部遺跡の調査成果概要報告」

問 県文化振興財団 遺跡調査部(024)534-2733

※県文化振興財団遺跡調査部が行った遺跡発掘調査の成果報告会。栗林遺跡(下郷町)と中西部遺跡(金山町)の発掘調査の成果や最新の研究成果の報告と、両遺跡から出土した縄文土器・弥生土器などのミニ展示と展示解説を行うほか、縄文土器の文様を写し取る拓本の体験会もある。



震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。
この事業への寄附をお願いします。



令和7年度下半期の主な事業ラインナップ

《公財》福島県文化振興財団

とうほう・みんなの文化センター (福島県文化センター)

10/10(金)・17(金)

文化芸術活動による共生社会
実現のための研修会〈入門編〉

ー文化政策論/合理的配慮/身体表現/舞台手話通訳/
特別支援教育を通じてー

<時間>各日とも9:15～16:45
<会場>福島市市民センター 大ホール
<料金>無料(要申込)
<問合せ>とうほう・みんなの文化センター
(県文化センター)管理事務所
(024)534-9191、culture@fcp.or.jp

※定員先着40名(要申込)。文化芸術活動にかかわる様々な立場の方が集い、座学やワークショップを通じて、だれもが文化芸術を楽しめる「社会づくり」に必要な知識や具体的な手法を学び合います。当日は手話通訳・文字通訳あり。10月3日(金)まで、申込フォームまたは電話にて申込を受け付けています。



申込フォーム

12/19(金)

バリアフリー公演

※『星の王子様』を題材に、ミュージカルの鑑賞と、観客全体で体を動かし、リズムを取りながら歌うなどのワークショップが融合した参加体験型ミュージカル公演。公演中は、手話通訳、字幕等の情報保障を行い、障がいの有無にかかわらず楽しめるよう工夫を行います。

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館の再開館の予定について

令和6年7月から、地震により被災した大ホール客席天井の復旧・改修や、老朽化が進む空調設備の改修工事のため休館しております「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)文化会館」については、令和8年9月1日(火)より再開館を予定しております。

- 再開館予定日
令和8年9月1日(火)
- 施設利用申請受付開始予定日
○大ホール 令和8年2月18日(水)
○大ホール以外の施設 令和8年1月15日(木)

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所で販売中のチケット

※9月10日現在の情報です。

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
柳沢慶子ピアノリサイタル “君に捧ぐ”	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	10月11日(土)14:00	2,000円	実行委員会(024)545-4486
第42回東北ハーモニカフェスティバル2025 in 福島	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	11月1日(土)12:30	1,000円	福島県ハーモニカ協会事務局 (090)2274-6115
演歌熱唱! 夢の競演	福島市・バルせいいざか (福島市飯坂温泉観光会館)	11月12日(水)10:45	《全席指定》 S席指定6,000円 A席指定5,000円	ミキ・プロモーション(090)8788-3839 オカダ・プランニング(0225)22-0934
立花和夫記念第12回演奏会 ラルカータ室内合奏団 冬桜コンサート	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	11月29日(土)14:00	3,000円	事務局(090)9036-2695
「田中彩子 ソプラノ・リサイタル 2026 in 郡山」Presented by WOWOWプラス	けんしん郡山文化センター (郡山市民文化センター)	4月18日(土)14:00	《全席指定》 一般6,000円	福島中央テレビ事業部 (024)924-1100

福島県歴史資料館

開催中～11/24(月・振休)

水郡線応援「東白川郡の古文書
一鮫川村編一」

<会場>福島市・県歴史資料館展示室
<時間>9:00～17:00(最終入館16:30)
<料金>無料
<問合せ>資料館(024)534-9193



12/13(土)～3/22(日)

新公開史料展

※令和6年度に史料整理を行い刊行した『福島県歴史資料館収蔵資料目録』第56集で新たに公開した史料群の中から、代表的な史料を展示します。

福島県文化財センター白河館まほろん

10/25(土)～12/14(日)

新収蔵資料展ーまほろんのニューフェイスたちー

<時間>9:30～17:00(最終入館16:30)
<会場>白河市・県文化財センター白河館まほろん特別展示室
<料金>無料 <問合せ>まほろん(0248)21-0700

1/24(土)～5/10(日)

企画展「ふくしまの縄文・弥生時代ー只見川流域の遺跡ー」
※只見川流域にある遺跡から見つけた、縄文時代晩期後葉から弥生時代中期後葉の出土資料を紹介します。

※施設利用申請受付開始にあたっては、受付会場や受付開始時間等の詳細が決定次第、文化センターのホームページに掲載いたします。

※再開館及び施設利用申請受付開始時期は、現時点での予定です。工事は令和8年6月30日までの工期で実施しております。工事の進捗等により変更(遅延)がある場合は速やかにお知らせします。

【利用に関する問合せ】
とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所 (024)534-9191(文化推進課)
【改修工事についての問合せ】
福島県文化スポーツ局文化振興課(024)521-7179

スポットライト

— 今、注目のイベント情報

劇団 120〇EN 第45回公演「音連れ梅にしのぶ浦」

福島市に住む人々のルーツをたどる劇団「梅子伝承」をもとに創作劇を上演

#12 劇団120〇EN 代表 清野 和也さん

劇団は、福島大学演劇研究会OBを中心に2011（平成23）年4月に旗揚げ。2013（平成25）年からは、福島市に伝わる民話や歴史を題材とした創作劇を制作・上演している。本公演は50本目の節目を飾る作品となる。

劇団の代表を務め、脚本も手掛ける清野和也さんは、大学時代に地元出身の同級生がいった「福島には何もない」という言葉から、演劇を地域の魅力を感じる入り口にしたいと考えた。地元の郷土史家がまとめた資料や文献を参考に作品の題材を決め、その地域に住む人たちの話をヒントに脚本を練り上げる。また、公演場所は神社や古民家、縄文遺跡など、福島の魅力が感じられる場所を選んでいる。

今回の作品は、福島市荒井に伝わる「梅子伝承」を取り上げた。梅子は、現在の福島市荒井地区に所領を持っていた戦国武将の娘で、地元には梅子を祀る小さな祠が残っている。

舞台は幕末、荒廃した屋敷を訪れた二人の男が、屋敷に残された梅の花を通して、戦国



公演をPRする清野さん

時代の武将・古内主膳正とその娘・梅子の物語へと巻き込まれていくストーリー。清野さんは、「地域の人々が守り、語り継いできた祠にまつわる物語。これを取り上げるのはこの劇団ならではの」と語る。会場は、物語の舞台と同じ荒井地区にある福島市民家園内の古民家・旧馬場家（市指定有形文化財）。

「何気ない風景の中に、誰かの思いを感じ、そこに物語があると知ったとき、人は街を好きになる。僕たちの作品がそのきっかけになれば嬉しい」



動きを交えながら台詞読みをする様子

劇団 120〇EN 第45回公演 「音連れ梅にしのぶ浦」

日 時：10/25（土）10：00、12：00、14：00

会 場：福島市・旧馬場家（福島市民家園内）

料 金：一般・大学・高校生 500 円

中学生以下無料

問合せ：事務局 info@120en.com

※各回定員先着 40 名。



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）管理事務所

TEL (024) 534-9191

FAX (024) 536-1926